

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動回復看護論演習		BNNSS4E35	30803	2後	1(30)	必修
担当教員	田口 豊恵	実務歴	病院に看護師として勤務			
担当教員	井上 深幸	実務歴	病院に看護師として勤務			
概要	事例を用いて、情報収集から看護計画の立案までの過程を体験する。障害による日常生活への影響およびその援助方法を考察する。					
学修目標	1)事例の身体的側面を理解するために必要な病態および治療等について説明できる。 2)事例の置かれている状況からアセスメントに必要な情報を推測できる。 3)ICFの概念に基づき、情報を整理できる。 4)情報を病態や解剖生理などの知識を活用してアセスメントできる。 5)具体的な看護計画を立案できる。 7)生活行動の再獲得が必要な人の看護の方向性が説明できる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○
回	学修内容		予習・復習内容			
1	オリエンテーション					
2	事例に必要な知識の整理					
3	知識の共有、情報の整理		【復習】事例に必要な知識を再学習する。			
4	情報の確認・整理					
5	心理・社会的なアセスメントと援助		【予習】p21-44			
6	自己概念と障害受容		【予習】障害受容に対する援助について学習する。 p21-44			
7	ICFに基づくアセスメント		【予習】p336-341			
8	家族・社会・住居、生活の再構築へのアセスメントと援助		【予習】p21-44			
9	リハビリテーション看護における看護過程の展開①		前時間に指示する			
10	リハビリテーション看護における看護過程の展開②		前時間に指示する			
11	リハビリテーション看護における看護過程の展開③		前時間に指示する			
12	リハビリテーション看護における看護過程の展開④		前時間に指示する			
13	リハビリテーション看護における看護過程の展開⑤		前時間に指示する			
14	リハビリテーション看護における看護過程の展開⑥		前時間に指示する			
15	まとめ		【予習】学習目標について、振り返りまとめる。			
使用テキスト	生活行動回復看護論 と同様。					
参考図書	適宜提示する。					
成績評価基準	定期試験100%					